（課題名）日本における血液透析患者の体格差がバンコマイシン濃度に与える影響について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】
抗菌薬であるバンコマイシンは肥満や痩せ方においては血中濃度の予測が困難であることが報告されています。特に日本の血液透析患者では投与設計に関して一定の見解を得られていません。この研究では血液透析中の方において体格差がバンコマイシンの濃度に与える影響について調査します。

【対象】
当院で2019年5月から2021年12月の期間に入院中にバンコマイシンの投与を受けた、血液透析中の方が対象となります。

【情報の利用目的及び利用方法】
血液透析中の方において体格差がバンコマイシンの濃度に与える影響について調査項目を検討し、学術論文の作成に使用します。

【調査項目】
・年齢、身長、体重、性別といった健康面の基本情報
・血液透析の条件
・バンコマイシンの投与量や血中濃度

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】
西暦　2019年5月1日　～　西暦　2021年12月31日

【利用する者の範囲】
研究代表者のみ

【試料・情報の管理について責任を有する者】
研究代表者

【研究期間】
実施許可日から 2023 年 6 月 1 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究機関・組織】
関西労災病院　薬剤部

【研究代表者】【研究事務局】
【当院の研究責任者】
松屋　翔太
関西労災病院　薬剤部
〒660-8511　兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL: 06-6416-1221（代表）
FAX: 06-6419-1870（代表）
E-mail：matsuya-shota@kansaih.johas.go.jp